



赤城山(1828m)に登るのは1985年12月以来である。あの時は100名山も終わりに近づいて冬には筑波山や天城山などと共にこの赤城山に登った。今回よりもっと雪が深くてしかも登っていたのは私一人でありよく登ったものだと思う。但しトレースは在ったようで道に迷うことは無かった。赤城山はこの山域の総称で最高点のちゃんとした名前は黒檜山(くろびやま)というらしい。登り始めるまでは曇りであったが登っているうちに晴天になってきた。だから頂上に立った12時過ぎでもこんなに霧氷が残っていた。最初から晴れていたら溶けるか落ちてしまっていたことであろう。風もなかったし、年初の初登山としては最高で満足できるものになった。体調もそこそこ良かった。しかしアイゼンの具合が悪くて降りて苦労したことと、登山準備をしていた時にテルモスをザックに入れ忘れたというチョンボもあった。アイゼンは、雪除けのために貼ってあるラバーの止め個所が5か所のうち一か所が切れてしまったために靴とラバーの間に雪がダマになってしまったものである。この軽アイゼンはもう10年以上使っているので寿命といったところか。テルモスのしまい忘れは、私がいつもよくやることですぐ使うものは最後にしまおうと思って、他の物をザックに入れているうちに大事なものを忘れちゃう。以前にも買ったばかりのデジカメを入れ忘れて40分戻って取り返したこともある。おかげで行動中の水分接種は一切なし。昼飯のおにぎりが胸につかえて飲み下すのに苦労した。

ツアーリーダーはメインが歌う山岳ガイドの小室さんで、サブは子育ても終わった強力女闘士の上野さんのベテランコンビである。

バスでたまたま隣り合わせたEザワさんは、話しているうちに判ったのはかつての私の勤めていた空調設備会社の同業他社であった。ただし彼の居た部門は全く違う分野のセクションであるということで



ある。私がアイゼンの不良で苦勞してみんなから遅れて歩いていたら、彼ともう一人のお姉さんにサブリーダーの上野さんとの4人で歩くことになった。上野さんと彼女との話を聞いていると、この彼女はトレランのスターでありフランスのツールドモンブランとか富士山一周トレランにも参加しているという。NHKのBSプレミアムのグレートレースという番組で両方とも見た。ツールドモンブランは、私が2011年にアルパインツアーで3泊4日かけて歩いたコースである。シャモニーを出発してフランス～イタリア～スイスとモンブランを見ながら再びシャモニーに戻るというものである。(山旅紀のツールドモンブランでコースを紹介している)我々の場合は、途中バスやタクシーを使ったりして良いところ取りのトレッキングであったが、真面目に全部歩くと10日以上かかるものらしい。それをテレビのグレートレースで見たところによると優勝者は23時間台で走りぬいていた。彼女はこれほど早くはないであろうが、まあ2倍以内ではあろう。途中のチェックポイントで遅いとカットされてしまうからである。更に全長165kmの富士山レースにも参加したようだ。これもグレートレースで放映されていた。しかもこの時は天候条件が最悪で、上位選手達こそ全コース走り抜いたものの、あとは途中でコースは短縮されてしまった。その後者のところまでは完走したという。この彼女が“3人で一緒に写真撮りましょう”と言ってくれたのでこの写真になった。私は歩くだけで懸命であったので彼女がこんなかわいい顔をしているなんてこの写真で初めて気が付いた。なお、新宿駅に着いてからEザワさんと一杯飲んで帰った。またたびにも何回も参加しているが、一緒に歩いた人と飲んで帰るなんて初めてのことである。

失敗談報告のついでにもう一つ。私が週末に通っている公営プールが正月1日から開いている。今年は根性を改めようと思って初泳ぎに行った。颯爽とチャリンコに乗ってプールに着いて遊泳券を買って、ロッカーで着替えようとバックを開いたらジムに行くときのトレーニングシャツとシューズしか入っていない。水泳パンツがない。こんな失敗がテルモスにも引きずったようだ。どこかで断ち切らなければ。根性の入れ替えはそう簡単にはいかない。